

# JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報 (月刊)

March 2010  
Issue No. 257

## CONTENTS

特別セミナー	1-4
異業種交流会報告	5
第134回ビジネスセミナー	6-7
日系人交流会報告	8-9
新入会企業紹介	9
各分会からのお知らせ	10-11

### March / April Event Calendar

- 3/5 (金)  
第2回JBA環境会議(環境委員会)
- 3/7 (日)  
NHLアイスホッケー観戦  
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 3/11 (木)  
オレンジ・カウンティ地域部会  
期末懇親会  
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 3/17 (水)  
カリフォルニア・フォーラム  
(商工総務部会)
- サウスベイ期末懇親会  
(サウスベイ地域部会)
- 3/19 (金)  
ダウンタウン地域部会総会  
(ダウンタウン地域部会)
- 3/21 (日)  
LAマラソン支援ボランティア  
(企画広報部会)
- 3/23 (火) JBA総会
- 4/16 (金)  
第135回ビジネスセミナー  
(企画広報部会)
- 4/25 (日)  
サウスベイ・オリンピック  
(サウスベイ地域部会)
- 4/30 (金)  
TOYOTA本社 キャンパス見学会  
(環境委員会)

## Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 270, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>

### Special Seminar

#### 企画広報部会

#### JBA特別ビジネスセミナー

#### 「2010年米国経済の展望と米国産業、 金利・為替市場の動向」を開催



講師の森谷さん(左)と高田さん

去る2月5日、ミヤコ・ハイブリッドホテル・トーランスにて、特別ビジネスセミナー「2010年米国経済の展望と米国産業、金利・為替市場の動向」を開催した。講師には、三井住友銀行 市場営業統括部 NY 駐在シニアエコノミストの森谷 亨さんと、同行企業調査部 NY 駐在部長代理の高田俊希さんをお迎えした。

当日の講演は、前半に森谷さんから「危機対策からの出口の模索」と「新たなグローバル成長システムへの移行」という大きな課題を抱える世界経済という視点から、米国経済・金融・為替市場について、現況と展望が解説された。後半には高田さんが、金融危機前後の米国産業動向について、マクロ経済、金融市場、企業業績等、様々な切り口から分析、これまでの動きと今後の見通しを披露された。

(次ページへ続く)

(前ページから続く)

# 「2010年米国経済の展望と米国産業、金利・為替市場の動向」

森谷 亨氏の講演  
「米国経済の現況と展望」

## グローバル成長モデルの変容と為替相場

米国の2000年代前半の成長モデルでは、行き詰まりが出てきました。結果、米国を始めとする少数の国々で世界経済を引っ張るのではなく、代わりに途上国内需を拡大してもらう。米国では無理な内需拡大はせず、国内貯蓄を増強する。世界を不均衡に拡大させない成長、バブルに依存しない成長、要は牽引力をもう少し分散し

ましようということで、オバマ大統領も東京での演説でそう言っています。

主要国地域の経常収支、GDP比で見ても、米国一國牽引からの変化の方向感は見えてきます。一方、米国内の経常収支（民間部門の収支、公的部門の収支）では、民間のバランスが大幅に黒字にずれています。これは民間が所得よりも支出を少なくし、貯蓄を増やしているのです。このままでは景気が悪くなるので、公的部門が赤字を拡大し、経常赤字を縮小させていきます。理想的には、もっと経常赤字を縮小すべきですが、ま

だ向かって行っていない。

牽引役が期待される国々の中では、前例を基に警戒感が高まっています。この前例は80年代後半の日本（「機関車論」と言われた）で、頑張ったらバブルが起こった。次は90年代の後半から00年代前半の米国で、牽引役として頑張った結果がナスダックバブル、クレジットバブルです。世界経済を牽引すると、バブルが起こる。これが警戒感のゆえんです。

グローバル経済のイメージとしては、途上国内需を拡大し、米国一極ではなく牽引力を分散する。これが理想です。しかし、一気に

は進まないでしょう。

## 政策効果と今後を巡る不透明感

金融に関しては、短期金融市場の混乱は終わり、極めてプレーンな証券市場は回復。また、Fedは信用市場支援を2月頭くらいに、かなり引き上げています。ただし、銀行部門のバランスシート調整は、積み残しの問題になっています。

次に財政。民間部門が貯蓄に走っているという中で、それが経済全体を落ち込ませるというのを防ぐために、すごい勢いで財政を出しました。しかし、中間選挙を巡って、最近マサチューセッツ上院補欠選で民主党議員が負けましたが、そこからオバマ政権の向きが変わっています。

有権者は何が不満かと言うと、「銀行や大企業ばかり助けている」というのがあります。それから「失業が多過ぎるから何とかしてくれ」という意見です。失業者が多過ぎると景気支援しないといけないんですが、それで財政赤字を拡大しても有権者は気に入らないということで、今ジレンマになっています。

先日出された政府の予算案に、



未曾有の経済不況の原因分析と米国経済の今後を占うセミナーとあって、多数の参加者が熱心に耳を傾けた

ご出張の多い企業様へ——国際線法人向け会員プログラム

ANA  
BUSINESS FLYERS



www.fly-ana.com

ANA BUSINESS FLYERSは  
ANA国際線を年間\$10,000以上利用  
される企業を対象とした会員プログラム。  
入会・年会費無料で、ご出張の航空券を  
最高5%割引でご購入いただけます。  
詳細はwww.ana.co.jp/www/us/j/abf/

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER



財政赤字を縮小してほしい人にも失望感が起っています。景気支援を継続してほしい人にもちょっと不満があり、どっち付かずになっています。そういう中で、銀行業界を叩きましょうという雰囲気だけが盛り上がっています。

非常に混沌として不透明で、このまま進んでいいのかという懐疑心があります。こういったものが原因となり、最近株の動きが悪くなっています。

公的支援の意義ですが、連邦政府の債務拡大、マネタリーベース急拡大により、民間企業市場の機能停止、ディレバレッジ進行による経済活動の低下を、ある程度制御できています。

証券市場の動きは、最近回復しつつあります。一方、ストラクチャード市場は、なくなった市場と復活した市場がはっきり分化。トラディショナルなマーケットについては、回復しています。こうした中で積み残されたのは、銀行のバランスシートという問題です。

銀行の貸し出し基準は、まだ全般に厳しい状況をキープしつつも、商工業向けには緩和の方向に。ただし、今回のバブル崩壊の反省から、とりわけ消費者向けには引き締め気味に運営する方針の銀行が多い、というアンケート結果が出ています。一方で、保有債権を少しずつ増やしています。貸し出し圧縮と安全債権の積み増しを加速し、不良資産の償却、ポートフォリオの安全性向上というのが、今のところ彼らのメインです。

## 財政政策と 実体経済の自立的な動き

オバマ政権が決めた7870億ドルの景気刺激政策は、昨年のクリスマスまでの段階でも、まだ支出され尽くさず、たくさん残っていますので、まだ出続けると言えます。ただ、大体今年の後半からは、これは押し下げに効いてしまう可能性があります。予定支出額はドンドン増えて行きますが、実際にGDP押し上げに効くのは何かというと、潜在GDPと実質GDPの差額です。実質の額は2008年くらいでピークアウト。ということになると、今後GDPに効く部分というのが押し下げになってしまいます。11月に中間選挙があるので、議会はその前までに押し上げが最大になるようにしています。中間選挙が終わってしまえばマイナスになってもいいというプログ

ラムになっているんですね。

もう1つの問題は、州地方財政が緊縮。予想される歳入欠損に対し、歳出削減をしなければいけない。これは連邦支出の効果を一部相殺するほど、非常に大きな額です。

過去数年の米国経済の成長率は、80年代以降30年くらいの景気は、3%ぐらいで成長。無茶な動きを考えずとも、そこそこ成長するのではないかと推測でき、実際にそういう動きが一部で出ていて考えていいのが現状です。ただ、GDPギャップは大きく開いた状態のため、「そこそこ成長」程度では生産力余剰は解消されないと思われます。

企業部門では、「在庫の戻り」と「企業マージン確保の動き」を急速に調整しています。90年代以降の「マージン確保」は、雇用コストと資本コストの削減でマー

ジン改善が主流です。

## 失業の影響受ける家計 米国成長率の見通し

失業率は少々下がりましたが、失業期間は戦後最長。この状態で資産の復元やローン返済継続は極めて困難と考えられます。また、就業の質も悪化し、企業からの諸手当、ボーナス等、報酬全般が抑制されています。所得見通しは、例外的な暗さを示す数字も出ています。

一方、家計純資産は過去にない減少。この劣悪な雇用・所得の中で、当面は資産復元を優先することになるでしょう。なお、インフレ圧力の高まりはほとんど考えられないので、不安はないと考えていいでしょう。しかし、GDPギャップの正確な把握は困難です。

最後に、企業セクタの自立的な調整はある程度進み、最終需要が鈍い中で、しばらく在庫が持ち上がるのが期待できます。政府支出は段々落ちて行くとは言いながら、これもしばらくは支援財務になります。純輸出も海外がある程度引っ張ってくれることを前提としていいのではないのでしょうか。

住宅投資などは支援が入りするので、その影響で増減。消費に関しては、中期的に停滞の可能性があります。要するに、ある程度の成長率は出ると考えていますが、十分に回復させるためのものになるかということに関しては、確信が持てない、というのが正直なところです。



「米国経済の成長率は、ある程度の回復が見られますが、それが十分なものかは不透明です」(森谷さん)

## ご家族の将来的な財産形成のためのお手伝いをします！

知識もあり丁寧で信頼できる担当者が、あなたのライフサイクルに応じた  
また、それぞれの必要性にあった商品のご選択をお手伝いします。  
もちろん、日本へのご帰国後もご継続いただけます。

お問い合わせは下記の日本語ラインまで、お気軽にご連絡ください。



**PACIFIC GUARDIAN LIFE**  
Pacific Guardian Life Insurance Company, Limited

Orange Office : 333 S. Anita Dr., Suite 900, Orange, CA 92868  
Torrance Office : 21605 S. Western Ave., Unit I, Torrance, CA 90501  
Burlingame Office : 1350 Old Bayshore Hwy., Suite 660, Burlingame, CA 94010

**明治安田生命子会社**

<日本語トールフリー>

**1-888-616-3780**

高田俊希氏の講演  
「金融危機前後の  
米国産業動向について」

金融危機が残した傷跡

金融危機の前には、個人向けローン、企業向けローン共に大幅に増加しましたが、中でも増加が著しかったのは、個人向けの住宅ローンでした。これにはサブプライムローンも含まれており、これらの貸し倒れ増加が銀行の貸出抑制につながりました。さらに銀行の損失が膨らみ、銀行同士の資金のやり取りも滞った結果、発生したのが流動性危機、すなわち金融危機です。

また、この金融危機は、“リーマンショック”とも呼ばれるように、商業銀行ではなく、ほとんど規制を受けない投資銀行やノンバンクが、借入に依存してハイリスク資産に投資、これに失敗した結果、発生したという点も特徴的です。

金融危機が産業や企業に与えた影響としては、まず、「財務体力」の重要性が再認識されたことが挙げられます。企業倒産は2008年前半から増加に転じていましたが、08年末から急増しました。企業の業績が急悪化したことに加えて、金融危機で企業のリファイナンスが難しかったことが原因となりました。現在では企業の資金調達環境が大きく改善していますが、銀行や投資家だけでなく、企業自身にとっても財務の重要性が

再認識されています。

次に、バブル需要が剥落し、過剰な供給能力が残されたことが挙げられます。バブルマネーが流れ込んでいた先としては、個人では住宅や自動車、その他耐久消費財や高額品が挙げられ、企業では建築物や設備投資があります。これらが大きく伸び、その後大きく落ち込んだことは、GDPの変化からうかがうことができ、例えば住宅は、06年の第1四半期をピークに6割低下しましたし、自動車は05年の第3四半期をピークに3割低下しました。また、最近懸念が高まっている商業不動産（非居住用建築物投資）は、08年第4四半期をピークに3割低下し、まだ下がり続けています。一方、個人向けサービスは伸び続けているほか、非耐久消費財の落ちは軽微となっています。

バブル需要が剥落した結果、明らかになったのは過剰な供給能力で、住宅関連、建設や設備関連の産業を中心に、稼働率が低迷しているほか、雇用の減少も著しくなっています。特に雇用については、例えば自動車製造や建設で失われた雇用は、簡単に戻って来ないと見られるため、今後の個人消費動向への悪影響が懸念されます。

米国企業と産業の動向

S&P500企業（金融を除く）の動向を見れば、全体としては売上高が前年比12%減、EBITDAの売上高比率が同0.5%ポイント減

となっていますが、業種ごとに見れば、オイル価格やコモディティ価格の低下からエネルギーや素材が落ちているほか、設備投資の落ち込みを受けたインダストリアル等の落ち込みが大きくなっています。一方、ヘルスケアやITは大きく落ち込むこともなく推移しています。

金融危機の影響が残る中でも、財務体力があり、業況も不悪な産業（医薬品や食品等）では大型M&Aが実施されています。また、ソフトウェア、ヘルスケア、バイオ、教育といった成長分野に対しては、IPO資金も集まっています。

注目産業として、まず住宅を見てみましょう。住宅着工の潜在需要は120万戸と言われていますが、足許人口の増加ペースが鈍っていることを踏まえれば、60～100万戸と見ることもでき、過剰

な在庫が残る中、回復には時間がかかる懸念もあります。

小売は、必需品を扱うドラッグストアや食品スーパー、消費者の低価格志向を追い風としたディスカウントストアが好調な一方、住宅関連のホームセンター等は依然低迷しています。百貨店やアパレルなどの選択的消費は、昨年末に底入れしましたが、依然07年水準には及ばない状況です。

家電も依然低迷していますが、PCやスマートフォンなどが堅調なほか、これまで不振が続いていた白物家電でも底入れの兆しが出てきています。

最後に自動車は、販売の最悪期は脱し、年1100万台前後の販売ペースとなっているものの、05年ピークの1700万台には遠く及ばず、今後の回復も緩やかに留まると見られています。



「米国産業は回復局面に入りましたが、業績は未だ低水準に留まっています」(高田さん)

BlackBerry®、iPhone™ からプリントできるんです！

- プリンタードライバー、追加ソフト不要
- 簡単操作：プリンターにe-mailを送るだけ
- 添付ファイルも印刷可：120以上のフォーマットに対応

**RICOH™**

お問い合わせは、714.375.2301 (高橋) まで

© 2009 Ricoh®, the Ricoh logo and the HotSpot Printer logo® are trademarks of Ricoh Company, Ltd. All other trademarks are the property of their respective owners.



Ricoh HotSpot Printer™

## 企画広報部会

## 新しいホテルで大賑わい!

## 都ハイブリッドホテルでミキサー開催

去る2月4日、企画広報部会の主催で異業種交流会(通称ミキサー)を開催した。会場は、昨年グランドオープンした都ハイブリッドホテル。真新しいホテルを会場に、普段は接点のない人同士が交流を深めた。

(注:皆さんのお名前は左端から)



日本通運の嘉藤さん、Teruko Weinberg Inc.の川崎さん、I-COMの森原さん、Hotta Liesenberg Saito LLPの柏井さん。「このホテルは初めて来ました。楽しいですね」(柏井さん)



山崎製パンの小野さん、Freeman, Freeman & Smileyのマザ洋子さん。「期待通り良い会です」(小野さん)。「色んな方とお知り合いになりたいです」(マザさん)



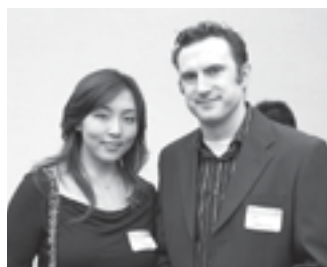
Kintetsu Enterprises Co.の林さん、KDDIの矢野さん、Kintetsu Enterprises Co.の山田さん。「私はこのホテルのスタッフですが、こんなにたくさんの方が来てくださって、とてもうれしいです」(山田さん)



JBS USA, Inc.の高原さん、TCS Americaの竹村さん。「久しぶりに参加しました。不況に負けず頑張ります」(竹村さん)



TCS Americaの千々和さん、World People USA, Inc.の田村さん。「久しぶりの参加ですが、以前よりも賑やか。今年は良いことがありそうです」(千々和さん)



JBrandingの玉井さんとジョン・バームガデナーさん。「以前よりも活気があり、不景気でも地域の方がチャンスを探して集まることは良いことです」(バームガデナーさん)。「他業種の方と交流ができて、とても有意義です」(玉井さん)



RICOHの七重さん、eBaseの宮西さん、NECのロビンさん。「食事も美味しいし、皆さんとても良い方ばかり。次の会も楽しみにしています」(ロビンさん)「多くの人でビックリ! 次も参加します」(七重さん、宮西さん)



Pacific Guardian Lifeの鈴木さん、岩井さん、田代さん。「新しいホテルで、色んな方と出会えました。楽しくて、足がつっちゃいました(笑)」(鈴木さん)。「たくさんの方で緊張しています」(岩井さん)。「圧倒されてます(笑)」(田代さん)

## MasudaFunai

CHICAGO

19191 South Vermont Avenue  
Suite 420  
Torrance, California 90502-1051  
TEL 310-630-5900  
FAX 310-630-5909

お問い合わせは  
1-877-245-7500

[www.masudafunai.com](http://www.masudafunai.com)

サイトにて各種法律ニュースに登録  
できます。

LOS ANGELES

増田・舟井は、米国でビジネスを営む企業ならびに  
投資家を代理する総合法律事務所です。

■ ビジネス部門  
■ 流通販売部門  
■ 不動産部門

■ 雇用労働法部門  
■ 訴訟部門  
■ 遺産計画・管理部門

■ 移民法部門  
■ 知的財産テクノロジー部門  
■ 環境・衛生・安全法務部門

## 企画広報部会

## 第134回ビジネスセミナー

## 「移転価格税制にかかる最新動向と実践的対応」

去る1月22日、都ハイブリッドホテルで、第134回ビジネスセミナー「移転価格税制にかかる最新動向と実践的対応」が開催された。当日は、Pricewaterhouse Coopers LLPから、筒井俊一氏 (Managing Director, Washington DC)、大野由夏氏 (Director, Houston)、永藤剛基氏 (Director, Los Angeles)、塩谷岳志氏 (Senior Manager, Los Angeles) の4名が招かれ、会場を埋め尽くした参加者らを前に、移転価格税制の詳しい説明と最新情報を講演した。



アメリカでビジネスをする参加者らにとって、価格移転は身近な話題

## 永藤氏の講演

## 移転価格税制の解説と算定方法

まずは、移転価格税制を簡単に説明しましょう。

日本の親会社 (A) が、米国子会社 (B) に商品を1個当たり180円で、関連のない会社 (C) には150円で売ったとします。その商品が共に200円で市場に出たとすれば、B社の利益は1個当たり20円で、C社は50円。するとIRS (内国歳入庁) は、B社の方が利益が少ない分、C社よりもB社の課税率を下げざるを得ません。逆に、A社が120円で売ったとしたら、今度は親会社の利益が減り、日本の国税局はA社に少なく課税します。このように、企業が複数の国でビジネスを展開する場合、国同士で税金の取り合いが生じます。そのバランスを調整するものが、移転価格税制なのです。

さて、移転価格の算定方法をご説明しましょう。

まずはCUP法 (独立価格基準法)。これは一番簡単な方法で、第三者に100円で売るなら、子会社へも100円で売るという方法です。しかし、価格自体を比較するため、ブランド力やコスト、品質など、子会社と第三者へ売れる物がほぼ同質である必要があります。

CP法 (原価基準法) は、原価にどれくらいマークアップして売るかに注目したもので、これも第三者取引との比較で行われます。しかし、売上原価に対するマークアップ率ですから、営業活動や研究開発などのコストが考慮されない問題が生じます。

RP法 (再販売価格基準法) は、売上総利益率を比較する算定方法



価格移転税制の背景や算定方法を説明する永藤氏

ですが、同じ原価でも会社によって販売やマーケティングなどのコストが異なりますから、CP法と同様の問題が生じます。

一番馴染み深いのがTNMM (取引単位営業利益法) /CPM (利益基準法) です。これにはいくつか種類がありますが、なかでも「フルコストマークアップ率」は、原価や販管費などすべてのコストを含め、どれくらいマークアップして売るかを比較する方法で、製造業やサービス業に多く利用されています。また、「売上高営業利益率」は、売り上げに対する営業利益の割合に注目したもので、特に販売会社の大半がこれを使っています。

最後にPS法 (利益分割法) です。これは、比較対象会社を必要としない唯一の方法で、親会社と外国の子会社でどう分割するかを考えるものです。概念としてはかけた労力や知恵、コストなどに応じて利益を当事者間で配分するわけですが、分割に用いる合理的な指標を見出す簡単ではありません。

## 大野氏の講演

## 米国移転価格税制の動向

移転価格税制は、各国の税務当局による多国籍企業の利益の取り合いですので、米国の移転価格税制が厳しくなれば、日本、ドイツ、カナダなども厳しくなります。

昨今の世界的不況で、各国共税収が減少しています。しかし、どの国も国民や自国企業への増税は避け、その代わりに海外企業に税源を求めようとしています。

米国の動向としては、現在IRSの国際税務調査官や移転価格専門家を増員しています。2009年度の予算で国際税務調査官を700人増員、10年の予算でさらに784人増員します。このうち、かなりの人数の移転価格専門家がいる



米国価格移転税制の最新動向を説明する大野氏

## JBAニュースでは広告を募集しています

在外邦人ビジネス団体としては世界最大規模のJBAでは、毎月会報誌の「JBAニュース」を発行しています。現在毎月3500部をJBA会員および、あさひ学園のご家庭に配布しています。月額料金は1/4ページで\$350からとなっています。ぜひご利用下さい。

お問合せ、お申し込みは、JBA事務局の森まで  
Eメール: mori@jba.org、TEL: 310-515-9522



と考えられ、12年までに国際税務調査および移転価格調査を5400件まで増やす計画が進められています。国際取引のある小企業に対しても、1200件ほどまで調査件数を増やす予定です。

移転価格は1カ国だけで更正すると、二重課税の危険性が生じます。租税条約によって二重課税の回避が謳われていますが、当該国によっては必ずしも相互協議で合意がなされず二重課税を必ずしも回避できないという実情でした。近年、強制仲裁(Mandatory Arbitration)のシステムが導入される傾向が見られ、これまで二重課税の調整が困難だったアメリカ・カナダ間、アメリカ・ドイツ間などで仲裁が可能になりました。

また、IRSだけの調査では取りこぼしが生じる可能性がありますので、関税当局や他国の税務当局と協力体制を構築し、情報を交換する制度も強化されて来ており、5~6カ国から同時にレポートを要求され、同時に調査が始まるケースが増えています。

調査ターゲットは、自動車、金融、薬品、医療用品、国によってはハイテク産業のほか、利益が急減した多国籍企業、低税率国との取引が多い企業、アメリカ、日本、ドイツなど移転価格が厳しい国と取引が多い企業などが多い傾向にあります。

#### 塩谷氏の講演

### 会計上押さえておきたい「FIN48」

「FIN48」は、米国財務会計基準審議会(FASB)が06年7月に出した解釈指針で、不確実な税務ポジ

ションに関する会計処理を統一するためのものです。これにより、企業間比較が容易になるとされています。

FIN48は、「認識」と「測定」の2つのフレームワークから構成されます。まずは「認識」ですが、ある税務上のベネフィットについて、そのポジションが認められる可能性が50%以上の場合にのみ認識できます。税務調査で発見される可能性は考慮しません。「測定」では、認識された不確実な税務ポジションについて、容認されると判断される確率が累積で50%を超える額で計上する必要があります。また、「認識」も「測定」も初年度適用後も、定期的なアップデートが必要となります。

FIN48の準備資料・文書については、次のような内容が含まれているのが望ましいとされています。

1つ目は、「すべての不確実なポジションが、文書化されているかどうか」。2つ目は、各税務ポジションの測定について「計上する必要があるか(認識)」、及び、「認識する必要がある場合、金額はいくらになるのか(測定)」などについてのまとめ。3つ目は「ペナルティーおよび延滞利息の計算資料」や「FIN48の開示項目サポート資料」などです。経営事実を正しく認識・測定するために、移転価格についても、何が適切なのかという経営者の判断・主張を文書化することが必要です。

実際に適用した企業からは、「経理・税務担当者間で、予想以上に緊密な連携が必要だった」「認識・測定の時間が多くかかった」「必要資料が予想以上に多かった」「当



価格移転税制を語る上で欠かせないFIN48を解説する塩谷氏

初の認識・測定の前提を覆す可能性のある新事実の評価が難しい」などの声が聞かれました。性質的に継続的な対応努力が求められる会計基準と言えます。

#### 筒井氏の講演

### 実際のケースとその対処法

まずは、産業用製品の流通販売と原材料貿易を行うA社の例を見ましょう。同社の流通販売部門では、在庫、回収リスク、営業活動がありますが、貿易部門には在庫リスクがほとんどなく、営業活動も限定的です。この会社は、財務諸表上営業利益が低く、単純に比較対象企業とのCPM法を適用すると、レンジの下限を下回ります。言い換えれば、財務諸表だけでは移転価格が間違っている可能性もあります。

対応策としては、販売流通部門を「スタートアップ」と「それ以外」に区分し、「それ以外」の部門にCPM法を適用します。どの企業もスタートアップ期間の利益率は低く、場合によっては損益が出ます。基本的にスタートアップは別格扱いできますので、まずは区別する必要があります。貿易部門に関しても、取引先の「関連会社」と「非関連会社」とを区分した上



具体的なケーススタディーを紹介する筒井氏

で、PR法を適用します。在庫や回収リスクが限定的ですから、「関連会社」「非関連会社」との取引を比較することができます。

次はサービス関連会社で、「付加価値サービス部門」と「設備設置部門」(例えば大型機械を設置する部門)に分かれています。サービス部門は高度で付加価値の高いサービスを提供し、相当のビジネスリスクを伴うこととなります。

一方、設備設置部門は、設備の売買はあるとは言え、顧客指定の設備を顧客に代わって購入しているだけです。あくまでも設備の設置が主業務で、機能とリスクは限定的です。この場合も、財務諸表上の売り上げが設備売買を含むため営業利益が低くなり、単純に比較対象企業とのCPM法を適用すると、レンジから大きく外れてしまいます。

対応策としては、設備設置部門の主業務が「設備設置」であることから、その売り上げと原価をネットし、粗利益を設備設置のサービス収入として財務諸表を書き直します。リフォーマットされた損益計算書に基づけば、会社の利益率はCPM法のレンジに収まることとなります。

プランニングの段階から最後の引越しまで

## 事務所、倉庫、工場の移転は

日通のTotal Relocation Plannerにすべてお任せください

20年以上の経験と実績が  
御社の移転プロジェクトを確実に実施!!

- 移転に関するコンサルテーション ●オフィス物件の紹介
- オフィスデザイン・レイアウト設計 ●移転・引越作業
- 内装・電気工事 / 電話・LANの配線作業
- 各種規制・許可の申請と確認 ●その他

日本へ

当店の取り扱いは引越荷物(別送品)限定です

ペリカンシーパック 1箱 \$100.00

ペリカンコンボ 5箱 \$500.00

シングルジップパック 最大25箱で\$940~

www.nittsu-pelicanclub.com

950 Francisco St., Torrance, CA 90502  
お荷物受付時間: 月~金 9am~11am, 1pm~4pm



安心と信頼のブランド

米国日本通運

お問合せは日本語で

ニッソー ニッソー

310-515-2222

## 商工総務部会

# 日系人と日本人の交流促進を目指す 日系人交流会開催

商工総務部会は、去る1月26日、ホリデーイン・トーランスで、日系人交流会を開催した。これは、JBAが使命とする「地域貢献」をさらに促進するために開催したイベントで、普段はなかなか接点がない日系人と日本人が一堂に集まり、笑いの絶えない交流会となった。

今回の日系人交流会は、日系アメリカ人と日本人との交流で築いた人脈や友好関係を活かしながら、JBAの使命である「地域貢献」を促進することを目的としたもの。会場には、政府関係、文化関連団体、企業、NPO団体などのリーダーたちが顔を揃えた。

司会を務めたのは、Union Bank Corporate Communicationsのバイスプレジデント、海部優子さん。流暢な英語で巧みに冗談を交えながら、和やかに交流会を進行した。

まずは、木畑捷三 JBA 会長が挨拶に立った。

「JBAのミッションに、『地域社会

への貢献と調和』を掲げています。これを実現するためには、日系アメリカ人の方が活躍するコミュニティとのコラボレーションが不可欠と考えています。この場には、各コミュニティのリーダー格の方がいらしており、皆さんと意見交換することは、とても有意義なことです。ですから遠慮なく互いの見解を示し合い、このイベントを楽しんでください」と述べた。

次に、US-Japan Councilの理事長であるトム・イノさんが壇上に立った。

「第2次世界大戦以降、日米友好のかけ橋は、我々の世代だけでな



日本人と日系アメリカ人という、同じバックグラウンドの共通項で、和やかに会には進んだ

く、若い世代にとってもキーとなっています。日米関係をさらに発展させるために、こういったイベントはとても有意義だと考えます。US-Japan Councilの目標は、米国内におけるさまざまな日米関係を、国家間レベルで構築すること。現在では日系4世、5世の若者が成長し、ビジネス、教育、公共の多様な場面で重要な役割を果たしています。ここにいらっしゃる多彩な分野のキーパーソンが交流を深め、どんどんコミュニティの垣根を越えていければと思います」と語った。

この後、全米日系人博物館提供で、日系移民の歴史を10分にまと

めたDVDが上映された。その作品を見ながら、立食パーティーが開始。料理とドリンクを楽しみながら、笑いの絶えない交流会が和やかに進んだ。

1時間半ほどして、会の終了がアナウンスされ、横商工総務部会長が挨拶に立った。

「私たちは、このイベントをJBA企画の中でも最重要イベントと位置付けています。互いを理解し、この厳しい現状を乗り越え、さらには共に手をつないで歩んで行ける分野を探ること。これが両国にとって一番大切だと思います」と交流会の最後を締めくくった。



冗談を交えながら、円滑に会を進める海部さん



JBAのミッションと同イベントの意義を話す木畑JBA会長



日米関係の重要性を話すイノさん



今後も同様のイベント開催に意欲を示す横商工総務部会長

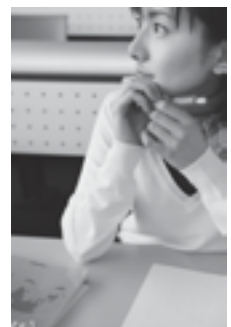


## 英検2級から米国大学(院)へ入学できます!

詳細: <http://www.eiken.or.jp/ryugaku>

### 英検のメリット

- ① 全米320校以上の認定大学(院)への語学力証明に!
- ② 日本で編入学・入試・就職に有利!
- ③ 日本の通訳ガイド試験1級の英語試験免除!
- ④ 日本の高校・短大・大学で英語科目の単位認定有!
- ⑤ 日本の教員採用試験に有利!



財団法人 日本英語検定協会 英検LA事務局  
21250 Hawthorne Blvd Suite 500 Torrance, CA 90503

Tel: (310) 944-3840 (10:00-18:00), (310) 972-1444 (緊急用)  
E-mail: [info@stepeiken.org](mailto:info@stepeiken.org)



参加者のコメント



色んな方から、アメリカに渡って来た1世の皆さんのご苦労や頑張りのお話を聞かせていただき、それだけでもこのイベントに参加した甲斐があったと思っています。日系アメリカ人の方と、これから交流を深めていくつもりです(大島さん・左)

私は以前、ロンドン勤務でした。当地の美術館などでは、アウシュビッツ収容所の展示などが頻繁にあり、その歴史は広く認知されていました。アメリカでも日系移民の歴史やマンザナ収容所の展示をするなどして、全米規模でその認知度が深まればと思います。(芹澤さん)



在ロサンゼルス日本国総領事館の古沢洋志領事

定期的なこのような交流の場を持つことで互いを理解し、ビジネス発展にもつながると思います。領事館としても、日本人と日系アメリカ人が互いに理解を深め、より親密な関係を築くことは重要と認識しており、我々も大いに協力したいと考えています。駐在員の方は日系アメリカ人の役に立ちたいとおっしゃいますし、日系アメリカ人は、日米ビジネス発展に尽力したいとおっしゃっています。このように、ますます良い関係が発展していけばと願っています。



R7 Real Estate Inc.のStan Yoshiharaさん

私たちのような日系アメリカ人にとって、このような機会は本当にありがたいものです。ネットワークが広がることで強固な協体制度が築けず、新しい価値を生み出す貴重なチャンスでもあります。私は商業物件やリテール物件を扱う不動産業を営んでいますが、こういった機会は、ビジネスの枠を超えてとても有意義です。個人的にも、今後ますます日米両国の信頼関係が深まり、より新しい価値を生み出すことに協力できればと思っています。



Water Replenishment District of Southern Californiaのディレクター、Lillian Kawasakiさん

この会に出席でき、とても興奮しています。日本人と日系アメリカ人が交流の場を持つことは、今後どのように協力していき、文化、経済、雇用、福祉など、あらゆる問題解決の糸口を見出すためにも、とてもいい機会です。私は日系3世で、Japanese American Leadership DelegationとUS-Japan Councilのメンバーです。個人的にもこれらの団体を通じ、頻繁に文化イベントを開催することで、両国の交流促進に努めています。



LAPDのTerry Hara副部長

互いに強い信頼関係を築くことには大きな意義があります。世界はめまぐるしく変化していますが、我々が協力し合えば、これから活躍する若い世代の後押しもできるはず。私は個人的なボランティア活動を通じ、日本語を話すコミュニティとの関係を維持していますが、言葉の違いは障壁ではありません。協力して色んな問題に対処することで喜びと友情が生まれ、さらにネットワークが広がり、助け合いの心が芽生えるのです。

Mitsubishi UFJ Lease & Finance (U.S.A.) Inc. LA Branch

業務内容

同社は、2007年4月にダイヤモンドリースとUFJセントラルリースが合併して誕生した、三菱UFJリース(株)100%出資の米国現地法人。本社はケンタッキー州フローレンス市に構え、全米の日系企業向けに設備のリース、ファイナンスを展開している。製造・物流・卸売・小売・サービス業など日系企業が多数進出するカリフォルニア地区において、顧客の要望に迅速かつ効率的に対応し、身近でより良いサービスを提供するために、トランクス市に10年1月29日付でLA支店を開設した。フェイス・トゥー・フェイスによる打ち合わせを通じ、個別事情に配慮したきめ細かな対応を大きな特徴として、産業機械、工作機械、輸送運搬設備、情報関連機器、店舗設備、オフィス機器など幅広い物件のリースを行っているほか、ローンを含む多様なファイナンスを提供している。



沼邊さん

親会社の三菱UFJリース(株)は、71年4月に設立された総合リース会社。日本国内30力所、海外10力所に拠点展開するほか、数多いグループ会社の機能も活用し、多彩な商品とサービスを提供している。

JBA入会動機

「大所帯で積極的に活動されているJBAに、以前より大変関心を持っておりました。今後JBAの活動に参加させていただくことで、より多くの日系企業様との交流を深め、さまざまな情報・知識を吸収すると共に、微力ではありますが、地域ならびに日系社会の発展に何か貢献できればと考えております。よろしくお願ひ申し上げます」(General Managerの沼邊さん)

21250 Hawthorne Blvd, Suite 500  
Torrance, CA 90503  
☎ 310-792-7440  
FAX: 310-792-7441  
Web: www.us.lf.mufjg.jp  
www.lf.mufjg.jp  
責任者: 沼邊正道 (General Manager)  
その他の営業拠点: 日本国内30拠点、香港、中国、タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、米国(ケンタッキー、ニューヨーク、ロサンゼルス)、アイルランド



Think Global, Act Local

ワールドクラスITサービスをグローバルに展開する富士通はローカルに密着した製品とソリューションを提案します

グローバル インフラストラクチャー サービス

<p>データセンターサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ハウジングサービス</li> <li>■ホスティングサービス</li> <li>■セキュリティ管理</li> <li>■システム監視</li> <li>■システムトラブル対応、他</li> </ul>	<p>デスクトップ管理サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■PCトラブル対応</li> <li>■PC資産管理</li> <li>■ソフト配布運用</li> <li>■セキュリティ管理</li> <li>■PC増設対応、他</li> </ul>	<p>サーバーマネージドサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■システムオペレーション</li> <li>■システム監視</li> <li>■システムトラブル対応</li> <li>■システム構成管理</li> <li>■セキュリティ管理、他</li> </ul>	<p>ネットワークサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ネットワーク監視</li> <li>■ネットワークトラブル対応</li> <li>■ネットワークセキュリティ管理</li> <li>■ネットワーク構成管理</li> <li>■ネットワーク性能管理、他</li> </ul>
---	--	---	---

<p>FUJITSU THE POSSIBILITIES ARE INFINITE</p>	<p>(本社) FUJITSU AMERICA, INC. 1250 E. Arques Ave. Sunnyvale, CA 94085 Tel. (408) 746-6000</p>	<p>(ロサンゼルス) FUJITSU AMERICA, INC. 19600 Fairchild Rd., Suite 350 Irvine, CA 92612 Tel. (949) 885-8931</p>	<p>(ニューヨーク) FUJITSU AMERICA, INC. 733 3rd Ave. New York, NY 10017 Tel. (212) 850-6600</p>
---	---	---	---

## 商工総務部会

### 南加日系企業実態調査 回答のお願い

JBAが、2年ごとにジェットロ・ロサンゼルスと共同で実施している「南カリフォルニア日系企業実態調査」の2010年調査が現在実施中です。2月初旬にEメールにてアンケートを送付いたしましたので、ご多忙の折、恐縮ではございますが、ぜひ回答にご協力をお願いします。

本調査は、南カリフォルニアの日系企業を対象とした他に例のない大規模なもので、調査結果はJBAのウェブサイトで公表されます。また、ご回答いただいた企業の皆様には、今回の調査結果のポイントをわかりやすくまとめた資料を送付させていただきます。

## 企画広報部会

### LAマラソン支援 ボランティアを募集

JBAでは毎年、地域貢献の一環としてLAマラソンにボランティアとして参加し、ランナーの応援をしています。今年もLAマラソン支援のためのボランティアを募集します。

6回目の参加となる今年は、LAマラソン25周年の記念大会への参加となります。過去とは異なりLAマラソン実行委員会が設置する23マイル地点でのオフィシャル・ウォーターステーション(San Vicente Blvd. between 23rd St. & 24th St.)で、ランナーを応援しながら、飲料水やフルーツ、アンパンを手渡します。

今年のLAマラソン開催は3月21日(日)で、コースもドジャースタジア

ムからサンタモニカピアまでに変更になりました。ロサンゼルスでのビッグイベントに、ご家族での参加をお待ちしています。ボランティア参加者にはLAマラソンの公式Tシャツが支給されます。

問い合わせは、申し込みは、3月10日(水)までにJBA事務局の森(E-mail: mori@jba.org)までお願いします。

## 環境委員会

### 第2回環境会議を開催

第2回JBA環境会議を、来たる3月5日(金)の午前8時30分から正午まで開催します。会場は、ミヤコ・ハイブリッドホテル・トーランス(21381 S. Western Ave.)。

パネリストに全日本空輸株式会社米州総支配人兼ロサンゼルス支店長の石井知祥氏、Toyo Tire Holdings of Americas Inc. 会長で、JBA会長を務める木畑捷三氏、リコー・エレクトロニクス社取締役社長兼CEOの山下良則氏を迎えて、参加者と一緒に日系企業の環境ビジネスや環境活動の将来を話し合います。

また、在ロサンゼルス日本国総領事館の伊原純一総領事が基調報告、ユニオンバンク頭取兼CEOで北加日商会頭の田中正明氏が特別講演を行います。

会費は無料。申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

### TOYOTA本社

#### キャンパス見学会を実施

来たる4月30日(金)午前9時から正午まで、トーランスにあるTOYOTA (TMS) 本社キャンパスの

見学会を実施します。

昨年は、環境経営実施会社訪問&研修会としてリコー・エレクトロニクス社のタスティン工場を訪問しました。今年は環境にやさしい対策を実践し、本社ビル建築とその運営で環境対策のひとつの指標であるLEEDのGOLDを受領している同社を見学します。

申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

## オレンジ・カウンティ地域部会

### 2009年度

#### 期末報告懇親会を開催

2009年度オレンジ・カウンティ地域部会活動の締めくくりとして、オレンジ・カウンティ部会期末報告懇親会を、3月11日(木)午後6時30分より開催します。今年度のOC部会での活動を皆様と一緒に振り返る、楽しい食事会です。会員相互の親交を深め、情報交換を行う場として、参加を心よりお待ちしております。

会場は、Tustin Ranch Golf Club(12442 Tustin Ranch Rd., Tustin)。参加費は10ドル。申し込みはJBA事務局の中村までEメール(nakamura@jba.org)にて、1社から何名でも申し込みできますので、ぜひご参加ください。

## サウスベイ地域部会

### 2009年度

#### 期末報告懇親会を開催

来たる3月17日(水)午後6時30分から、ミヤコ・ハイブリッドホテル・トーランス(21381 S. Western Ave.)にて、2009年度期末報告懇親

会を開催します。09年度の活動を振り返りながらの楽しい懇親会です。会員相互の理解と交流を深める良い機会になれば幸いです。

また、当日の催しとして、業界人から常識、でも異業種の人にはわからない「業界ならではの常識クイズ」を行いたいと思います。問題と答えを募集しますので、奮ってご応募ください。問題が採用されると、出題者の紹介時に、会社の簡単なPRができます。

会費は1人20ドル(飲み物は各自負担)。申し込み、常識クイズの応募は、Eメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)までお問い合わせください。

## サウスベイ・オリンピック 参加者募集

今年で5回目となるサウスベイ・オリンピックを、来たる4月25日(日)、カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校(1000 E. Victoria St., Carson)にて開催します。昨年に引き続き、サッカー、バスケットボール、テニス、そして、今年はバドミントンも競技種目に加わり、現在、参加者を募集しています。

申し込み、問い合わせは、JBA事務局の中村(nakamura@jba.org)まで。

## ダウンタウン地域部会

### 総会及び懇親会のお知らせ

今年も3月19日(金)午後6時30分より、ダウンタウン地域部会総会と懇親会を開催します。会場は、ミヤコ・ハイブリッドホテル・トーランス(21381 S. Western Ave.)で、会費は1人20ドル。

参加申し込みは、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

## ザ・パシフィック・ブリッジ・カンパニーズ

### あなたとあなたの未来を繋ぐ架け橋

弊社はあなたのファイナンシャル・アドバイザーと協力し、あなたの資産蓄積・保全・譲渡の目的に合うよう、税務を考慮した保険・投資を有効活用する包括的なファイナンシャル・プランの開発および実践に努めます。



**THE PACIFIC BRIDGE COMPANIES**  
825 S. Primrose Ave., Suite C, Monrovia, CA 91016  
Toll-Free: 1-877-205-2555 Japanese Language Assistance: 1-626-303-5812  
[www.thepacificbridgecompanies.com](http://www.thepacificbridgecompanies.com)

Securities and investment advice offered through Transamerica Financial Advisors, Inc., a registered broker/dealer and investment advisor. Member FINRA/SIPC. Neither Transamerica Financial Advisors, Inc. (TFA) nor its representatives provide legal, tax nor accounting advice. Persons who provide such advice do so in a capacity other than as a registered representative of TFA.

## サウスベイ地域部会

### 「マンモス・スキーツアー」を振り返って…

文・Tsuchiya Gumi U.S.A., Co., Ltd. 西脇義浩さん

1月29日(金)の深夜午後11時30分、32名のスキーヤーを乗せたバスが、約320マイル離れたMammoth Mountain Ski Areaに向かって、ゆっくりと動き始めました。スキー場への到着予想時間は、翌30日午前8時30分。深夜バスでの1泊という強行軍です。

途中で2回ほど休憩し、バスは無事Mammoth Mountainに到着しました。辺りは真っ白な白銀の世界。道路も真っ白で、タイヤチェーンを装着した我々のバスは、スキー場への坂道を力強く登って行きましたが、あちこちで車がスタックしていました。

初日の30日は、青空の間にも時折吹雪が吹き荒れる天候でしたが、夕方の4時までたっぴりと滑ることができました。私にとっては約7

年ぶりのスキー。昔の体力があるわけもなく、睡魔と寒さと高山病、たまりまくる乳酸との闘いです。

アドレナリンを大量放出し、世間のしがらみから解放され、ゲレンデを滑走しました。高山病と書きましたが、標高が2424~3369mのスキー場ですので、人によっては軽い高山病の症状が出るそうです。富士山で言うと9合目に近く、日本のスキー場ではあまり体験できない高さですね。

2日目は快晴。絶好のスキー日和でした。ゴンドラで一気に頂上まで駆け上がり、360度広がるパノラマ、そこでの眺望はまさに絶景でした。頂上からはスキー場の反対斜面、西側のヨセミ国立公園が一望できます。すばらしい景色を堪能しつつ、すばらしいコ



ンディションのゲレンデで、楽しい時間を過ごすことができました。

しかし、今日は帰らなければなりません。後ろ髪引かれる思いで、スキー場を後にしました。午後8時過ぎ、事故もなく、全員元気で戻って来ることができました。また次の機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

最後に、今回のスキーツアーにて多大なるご尽力をいただきました、わがサウスベイ部会、日通の嘉藤さん。本当にお疲れ様でした。

## 新入会員

**Interface in Design, Inc.**  
21221 S. Western Ave. #110  
Torrance, CA 90501  
☎ 310-212-7555  
FAX: 310-212-7666

**Torrey Pines Bank**  
601 W. 5th St. Suite 100  
Los Angeles, CA 90071  
☎ 213-362-5210  
FAX: 213-452-0521

**INAX USA, INC.**  
21535 Hawthorne Blvd. Suite 103  
Torrance, CA 90503  
☎ 424-237-1031  
FAX: 424-237-1036

**Toshiba America Business Solutions, Inc.**  
2 Music  
Irvine CA 92618  
☎ 949-462-6000  
FAX: 949-462-2900

**Toshiba Business Solutions**  
9008 Research Dr.  
Irvine, CA 92618  
☎ 1-888-827-9378  
FAX: 949-453-3956

## 連絡先および会社名変更

**Mitsubishi UFJ Lease & Finance (U.S.A.) Inc.**  
21250 Hawthorne Blvd. Suite 500  
Torrance, CA 90503  
☎ 310-792-7440  
FAX: 310-792-7441

**Interplace, Inc.**  
2161 W. 182nd St. #102  
Torrance, CA 90504  
☎ 310-769-0101  
FAX: 310-769-0601

**Berlitz Languages, Inc.**  
3070 Bristol #150  
Costa Mesa, CA 92626

Nagano & Morita CPA  
⇒ **Nagano & Morita LLP**

Mizuho Corporate Bank, Ltd., L.A. Agency  
⇒ **Mizuho Corporate Bank Ltd., Los Angeles Branch**

## 主管者変更

**Nippon Steel Trading American, Inc.**  
Tsutomu Imono  
⇒ **Toshio Yamazaki**

## あさひ学園

### 2010年度入園・入試

あさひ学園事務局



心配された前日の大雨とは違って変わり、この日は絶好の入試日和となった。午前中は凜とする寒さに彩もまされたが、本年度は幼稚部約70名、小学部1年生の約90名が受験した。

一昨年の金融危機から未だ経済が立ち直らず、受験生の減少が懸念されたが、本年度も昨年と同数の受験生が、あさひ学園を受験してくれた。

日本企業からの駐在員が多く望まれない現状では、生徒数の減少が危ぶまれている。JBA傘下にあるあさひ学園としては、1人でも多くの会員子女の入学が望まれている。

小学部へは内部進学者もいるが、初めて幼稚部と小学部へ入園・入試を希望される保護者には、心なしか緊張感が漲っていた。それとは反対に、子供

らはこれから始まるであろう学園生活に、友達が増えることを期待しているようであった。同じグループで受験した子供たちの中には、すぐに仲良くなる子供たちもいた。

ジャカランダの花が咲き乱れる4月に、各校のキャンパスで逢えるのを楽しみにしています。



**自動車リース**は  
アメリカでクレジットが無いと  
出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 金利は5.45%と格安です。(2005年9月現在)
- 納車は注文からわずか一週間ほどで可能です!
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。



\*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様にも全米でご利用いただいております。

いえ、  
**出来るんです**  
どなたでも、全米どこの町でもOK!

お気軽に電話または  
e-mailでお問い合わせください。

電話 : **213-621-7775**

担当は 大橋: ohashi3@pacbell.net

又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

**特報** カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

\*各種情報はウェブサイトでもご覧になれます。  
[www.LaJapaneseAuto.net](http://www.LaJapaneseAuto.net)

親切で安心して任せられる25年の実績と信頼 (トヨタ系で1980年創業)  
**LOS ANGELES JAPANESE AUTO**  
810 E.1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

発行	: 南カリフォルニア日系企業協会 (JBA)	部会員	: 小泉 稔 (JTB International, Inc.)
編集	: JBA 企画広報部		: 前川武俊 (KPMG LLP)
企画広報部会長	: 佐野 学 (ANA Sales Americas)		: 川嶋達也 (Lighthouse)
副部会長	: 西森克矢 (KDDI America, Inc.)		: 森口達也 (Open Systems Production 2, Inc.)
部会員	: 安永正法 (Calbee America Inc.)		: 江口邦宏 (OYO Corporation U.S.A.)
	: 皮籠石 直征 (Consulate General of Japan)		: 大前洋一 (The Revere Group)
	: 田中 創 (Consulate General of Japan)		: 須藤 潤 (S-CUBED LLC)
	: 井筒謙一 (DCM Creations, Inc.)		: 熊崎 猛 (Sumitomo Electric)
	: 西川周作 (Deloitte Touche Tohmatsu)		: 鶴浦 真紗子 (Ted Tokio Tanaka Architects)
	: 伊藤三郎 (Ernst & Young LLP)		: 千々和 宗一 (Total Computing Solutions of America, Inc.)
	: 木村拓也 (Hampstead USA, Inc.)		: 洲上郁弥 (United Television Broadcasting Systems, Inc.)
	: 森原 潔 (I-COM, LLC)		: 水野真琴 (Yamato Transport U.S.A., Inc.)
	: 菊池正博 (interesse international inc.)		(社名アルファベット順)
	: 松山真一 (JALUX AMERICAS Inc.)	制作協力	: Lighthouse
	: 太田吉信 (Japan National Tourism Organization)		
	: 舟木 健太郎 (JETRO, Los Angeles)		

三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、国際取引と資産運用の豊富な知識と経験をもったスタッフが、お客さまの将来設計のお手伝いをいたします。詳しくは、日本語でお気軽にフリーダイヤル、または各支店までお問い合わせください。

電話番号：1-800-532-7976 受付時間：月～金 午前8時～午後5時（太平洋標準時）

<b>Corporate Banking</b> 213-488-3815	<b>Downtown L.A.</b> 213-236-7705	<b>Downtown L.A.</b> The Private Bank 213-236-7012	<b>Gardena</b> 310-354-4751
<b>Irvine</b> 949-250-0877	<b>Little Tokyo</b> 213-972-5511	<b>Montebello</b> 323-726-0084	
<b>S. Gardena</b> 310-532-5875	<b>Torrance</b> 310-373-8192	<b>West L.A.</b> 310-915-7110	



Visit us at [unionbank.com/japanese](http://unionbank.com/japanese) ©2010 Union Bank, N.A. Member FDIC



## 帰国後の住まい。

カリフォルニアにお住まいの皆様、こんな質問はございませんか？

<p>Q アメリカで購入したお気に入りの家具を日本の住まいに活かさないかな？</p>	<p>Q 帰国子女受入校に通える場所に住みたい！でもどこが良いのかわからない？</p>	<p>Q 日本に残してきた家のことはどうしよう？リフォームそれとも賃貸にする？</p>	<p>Q 家を建てたい！でも海外にいて住宅ローンって借りられるの？</p>
--	---	---	---------------------------------------

**ご相談**  
そんなご質問を住友林業海外レジデンシャルグループに相談ください！

住友林業ならではの“ワンストップ対応” 住友林業グループのサービス一覧 ※ 地域によって、ご提供出来ないサービスもございます。

注文住宅

分譲住宅

土地の売買・賃貸物件紹介

リフォーム

アパート・マンション経営

マンスリーマンション

“総合力”の住友林業 HP へ **必見** 実例公開中!! いますぐ

<http://sfc.jp/ie/kikoku/>

✉ [kaigai@sfc.co.jp](mailto:kaigai@sfc.co.jp)

帰国後の住まい **検索**



住友林業株式会社 海外事業本部  
海外レジデンシャルグループ (日本)  
Tel: +81-3-3214-3541  
Fax: +81-3-3214-3542